

SIGMA SD15

THE SIGMA SD15
DIGITAL SINGLE LENS REFLEX CAMERA
WITH FOVEON® FULL COLOR SENSOR



The SIGMA SD15
世界唯一、3層フルカラーセンサー搭載。
いま最も選ばれるべきカメラが、
充実の仕様をまとめて登場。

The world's only integral, three-layer,
complete-color sensor.
The camera that captures it all.







いま、選ばれるべきカメラ。 A new camera for a new era

写真のための道具、カメラ

The photographer's everything—the camera.

眼の前に広がる世界から、ある「被写体」を選びとり、それにふさわしい光と影、角度を見極め、最適なフレームを与える。注意深く、しかし迅速に。写真を撮るという行為の、このひとつひとつは、撮影者の意図する作品の「仕上りのイメージ」にもとづいて、瞬時に判断され、選ばれていきます。

二度と巻き戻すことのできない一瞬に永遠のいのちを与え、「感動」という主観的で不確かなものに具体的なすがたを与える道具として。より確実に。より精細に。いつの時代も変わることのない、写真に対する撮り手の切なる願望を引き受けて、カメラは数世紀にわたる進化を遂げてきました。

写真表現、2つの主要素

Two elements of photographic expression

現在、市場を見渡せば、数多のデジタルカメラがしのぎを削り、もはや何を基準として選ぶべきか途方に暮れるほどの爛熟ぶりです。しかし、カメラのメカニズムがどれほど最新鋭になろうとも、撮影者の心象風景を如実に再現する、という写真表現の本質においては、感光部とレンズこそがカメラの命であるという事実、にいまも変わりはありません。

かつて銀塩フィルムが主流だった時代には、感度や色味、粒状など、メーカーや製品ごとの個性の違いを絵作りに積極的に活かすという楽しみ方もありました。が、デジタルカメラになってからというもの、クオリティが均質化した分だけ「個性」は薄れがちになり、デジタルカメラの本質的な違いや選択基準までもが不明瞭になってきたとはいえないでしょうか。

写真はセンサーとレンズで決まる

The sensor and the lens make the photograph

もしあなたが、より自分らしい写真づくりを追求できるデジタルカメラを探そうとお考えなら、デジタルカメラにとって非常に重要なキーデバイスであるイメージセンサーにこそ、改めて注目していただきたいと思います。

よい画とは何か。よい写真を生み出すカメラとは何か。飽くなき追求と確固たる信念のもとに選ばれ、磨かれたイメージセンサーの違いを、魅力を、再認識していただけるはず。そしてどうぞ、表現者であるあなた自身の眼に適ったイメージセンサーを備え、優れたレンズとのマッチングを楽しむことのできるカメラシステムを選んでください。その求めに応えるのは、シグマのデジタル一眼レフカメラしかないということが、すぐにおわかりになることでしょう。

一眼レフ、その価値ある選択。

The single-lens reflex camera of choice

最も完成された「システムカメラ」

The most complete system camera available

撮りたい対象、撮れる状況、表現したい思い……。多様な被写体や表現手法に対応するには、フレキシブルな撮影機材が必要です。この求めに応えることのできるシステムカメラのなかでも、もっとも完成されたシステムが、一眼レフカメラなのです。

長い時間をかけ、多くの写真家によって研鑽されてきた一眼レフカメラは、撮り手がレンズやアクセサリなど、撮影に必要な要素を随意に選び、カメラに装着して、自身の撮影スタイルに最適な「自分仕様のカメラ」を作れるという、他にはない利点を備えています。

例えばレンズは、広角、標準、望遠、マクロ、高倍率ズームレンズといった豊富なバリエーションから、目的やスタイルに応じて選択することができます。アクセサリもまたしかり。さまざまな状況・条件下での撮影を快適にするための要素を、自分自身で自在に選ぶことができるのです。

撮りたい写真ありき、で選ぶ

The photographer's vision makes the camera.

きわめて個人的な感覚体験である心象風景を、たった一枚の画に表現する写真の世界。だからこそ、その道具であるカメラには、撮り手がより主体的に関わり、創意工夫できる余地が残されていなければならない。

シグマはこれを、「よいカメラ」を追求するための、不変不可欠の要件であると考え

続けてきました。その意味において、撮り手の表現意欲に当意即妙に応えられる「持ち駒」を揃えることができ、さまざまな現実的制約のなかで、撮影者に可能な限りの自由度と、多くの可能性を約束できるデジタル一眼レフカメラに勝るものはないと言ってよいでしょう。

まずは撮りたい写真ありき。旺盛な表現欲求と作画意欲があつてこそ、能動的な撮影道具としてのデジタル一眼レフカメラと、その主要素であるレンズやアクセサリの選定が可能になるのです。

「最高の一枚」を撮るために必要な手だてを、瞬時かつ自在に講じられるということ。自分のイメージを具体化するための自由な機会が与えられていること。この点において、デジタル一眼レフカメラは、表現者である撮り手のクリエイティビティを十全に支えることのできる、現在最高のシステムカメラであるといえるのです。

光学式ファインダーの魅力

The appeal of an optical viewfinder

もうひとつ、デジタル一眼レフカメラにとって最も重要なものが光学式ファインダーです。コンパクトタイプのデジタルカメラに実装されているような、背面LCDでファインダー像を映し出すライブビューや、エレクトロニックビューファインダー(EVF)は、進歩著しい先端のデジタル技術によって、視認性や利便性を大幅に向上させています。

しかし、画面の隅々にまで神経を行き渡らせた構図の確認や、ピント確認の精度。被

写体を捉えるリアルタイム性や、ファインダーを通して見たときの被写体の美しさなどの点で、精度の高い作画を可能にする光学ファインダーの魅力にはいまだ遠く及びません。被写体の美しさをより際立たせ、表現意欲を刺激することができるのは、現時点では光学式ファインダーにおいて他にないのです。

スタイルと作風を変えるカメラ

A camera that celebrates the photographer's style

代替不可能な魅力をもつイメージセンサーを備えたボディ。優れた結像性能をもち、最高の画質を実現できるレンズ。撮影の快適性を高めるアクセサリとのコーディネート。そして、写真づくりの眼を養い、作画意欲を促す光学式ファインダー。デジタル一眼レフカメラは、あらゆる状況や要請に応えうる余地をもつシステムカメラの完成形として、いまだに最も重要なツールでありつづけています。

デジタル一眼レフカメラを使いこなすことは、自ずと撮り手であるあなたの精神性や表現手法、写真のクオリティ、そして撮影スタイルを見つめる機会となるはずです。自身のクリエイティブマインドに向き合い、「写真家」としての可能性を広げたいと願う人にこそ、いま、本当の価値と個性をもつシグマのデジタル一眼レフカメラを選んでいただきたいと思います。

審美眼を鍛え、作風のレパートリーを広げ、創作意欲を促すよるこびに満ちたツールとして、あなたの作家性を刺激してくれる一台となることでしょう。







「Fine Detail」、最高画質の新基準。

The new standard for image quality and detail

真の画質はセンサー構造で決まる

A sensor that enables true image quality

イメージセンサーは、デジタル一眼レフカメラ選びにおいて最も重要なファクターです。では、そのイメージセンサーのよしあしを判断する基準は一体何でしょうか。

市場に出回る多くのカメラは、画素数の多寡によって画質の高さを競いあってきました。もちろん、画素数は写真の解像度を決定づける重要な要素のひとつであることは事実です。しかしシグマは、従来のサイズや構造はそのままに画素数だけを語る「画質」論では、本質的でない議論に終始してしまうと考えてきました。なぜならば、デジタルカメラの画質において根本的な影響を与えるのは、「センサー構造の違い」だからです。

シグマが手掛けてきたすべてのデジタルカメラには、初代からX3ダイレクトイメージセンサーが搭載されてきました。このX3ダイレクトイメージセンサーは、光の波長を短い方から順に、垂直方向に吸収するシリコンの特性を活かし、単板式センサーとしては世界で初めて、カラーフィルターを必要とせず、RGBの3原色が揃ったフルカラーキャプチャを実現したイメージセンサーです。

現代のカラーフィルムと同様、RGBの色を垂直方向に取り込むことのできるこのセンサーは、それまで普及してきた、ベイヤー式と呼ばれる一般的なイメージセンサーの構造を知る技術者の間では、常に「将来の夢」として語られてきたほど、ユニークで斬新な構造を持つものでした。

他のデジタルカメラは「モノクロームセンサー」

The photographer's vision makes the camera.

シグマ以外の、市場で売られているほぼすべてのデジタルカメラのセンサーは、基本的にはそれだけでは色を取り込むことがで

きないモノクロームセンサーです。これらは色情報を取り込めないため、センサーの表面にRGBの3原色を規則的に配置したカラーフィルターを介在させ、水平方向に色を記録しています。

その際、フォトセンシングを行う各フォトダイオードの上には3原色のうちの1色だけのフィルターが配置されるため、1ピクセルで1色しか取り込むことができません。その他の2つの色情報は切り捨てられます。

もちろん、このままでは各ピクセルにはRGBそれぞれ一色ずつの情報しか取りこまれないため、後段の画像処理工程で「デモザイク」と呼ばれる色の補間処理を行い、各ピクセルが失った色を、隣接するピクセルから推測で取り込むことによって復元させているのです。

この画像処理方法は長い年月をかけて改善され、かなりの程度熟成されてきたため、色の補間処理という点では、相当程度、正確に行われるようになってきました。しかし、隣接ピクセルからの色の補間は、被写体が本来持っている精緻な色のディテールを失うことでもあるのです。

ディテールを損ねる後段の画像処理

Demosaicing compromises color detail.

このようなカラーフィルターアレイを使用している一般的なデジタルカメラでは、前述の「デモザイク」によって、「偽色」と呼ばれる、被写体とは何ら関連のない色が生じることがあります。これは、ある一定以上の細かいもの（高周波成分）を写したときに、RGBのフィルターが規則的に配置された一般的なカラーフィルター（ベイヤー式フィルター）との作用で発生するものです。

ベイヤー式カラーフィルターを採用する一般的なデジタルカメラは、この偽色を抑

えるために光学ローパスフィルターと呼ばれるもう一つのフィルターをレンズとセンサーの間に配置しています。この光学ローパスフィルターは、撮像レンズで高解像度に結像した像のうち、偽色を発生させる精緻な要素（一定以上の高周波成分）をセンサーの直前でカットする役割を果たすために、偽色の発生は効果的に抑えられますが、その一方では当然ながら、画像の解像度を落としてしまうことになります。

X3センサーの原理が生む「感動画質」

The X3® sensor generates truly emotional images.

シグマのデジタルカメラが生み出す感動的なまでの画質。一般的なデジタルカメラのそれとは一線を画した、X3ダイレクトイメージセンサーだけが作り出す独特の画質感を評して、「感動画質」あるいは「Fine detail」といった言葉を耳にします。

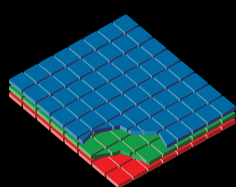
その場の空気感までもを写し込んだかのような臨場感あふれる画質は、先に述べた「色補間を必要としない垂直方式カラーキャプチャシステム」と「光学ローパスフィルターを必要としない」という、このセンサーのもつ原理的特性によってもたらされるものです。

色をにじませ、さらに高周波成分をも切り捨てる他のイメージセンサーでは、シャープネス処理を強めにかけて、全体的なメリハリをつけることで「解像感」を担保しているために、全体として不自然な印象の画像に陥りやすい傾向があります。

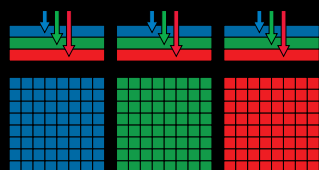
それなりの色味は後からでも調整することができますが、あらかじめ失われた情報のディテールを後から取り返すことは、決してできません。一般的なデジタルカメラ特有の、エッジが強調されたメリハリはあるけれども、どこことなく違和感を与える画像は理由はどこにあるのです。



FOVEON X3 ダイレクトイメージセンサーの構造

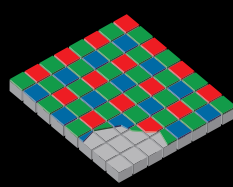


R: 100% G: 100% B: 100%

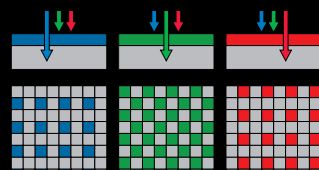


FOVEON X3 ダイレクトイメージセンサーなら、3層の感光層によって、初めから、RGB 3色の色情報を100%取り込むことができます。

従来方式の、ベイヤー式イメージセンサーの構造



R: 25% G: 50% B: 25%



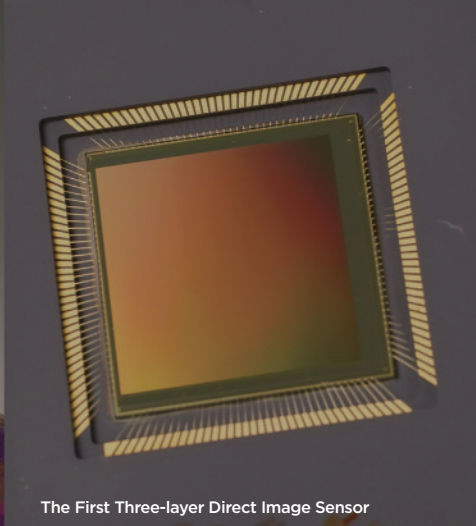
従来方式の、ベイヤー式フィルターを使ったイメージセンサーでは、緑 (G) 50%、青 (B) と赤 (R) は、たった25%の色情報しか捕らえることができません。







Professor Carver Mead



The First Three-layer Direct Image Sensor



Professor Mead and Dick Lyon working with the prism camera

インサイド・ストーリー

The Inside Story

すべての始まり

The founding of Foveon, Inc.

物理学者・情報工学者として数多くの基礎研究を手掛けてきたカリフォルニア工科大学のカーバー・ミード教授は、そのひとつとして人間のさまざまな能力を半導体でモデリングする研究に力を注いでいました。

この研究はやがて、人間の思考様式をシミュレートするニューラルネットワーク研究グループとのコラボレーションへと発展し、その一環であるイメージセンサーの研究にも展開されていきます。

ミード教授のこの研究は、米国シリコンバレー地域の有力企業などから経済的・人的支援を受けるベンチャービジネスとして発展。ついに1997年8月、Foveon（フォビオン）という名を持つ企業として設立されました。このユニークな社名は、「網膜中心窩（Fovea Centralis）」に由来しています。

「色と光への最高感度」という社名

Maximal sensitivity to light and color

網膜中心窩とは、人間の網膜の中心に位置し、視力と色に対する感度が最も高い部位を指します。最高の視力を可能にするこの部分を社名に採用したことは、〈フォビオン〉が設立当初からプロ仕様の革新的な高性能イメージセンサー開発を意図していたことを象徴しています。

誕生間もないこのベンチャー企業には、経験豊かな画像関連の専門技術者が各方面から集められ、最先端の研究開発活動を展開していきます。

Foveon最初の製品はイメージセンサーではなく、システムデジタルカメラでした。独自に開発した大型のモノクロームイメージセンサー3枚をカメラ内に配置し、プリズムで分散させた光線をそれぞれ赤（R）、緑（G）、青（B）のカラーフィルターを通してイメージセンサーに結像させるというものです。

これはワンショットで非常に高解像度の画像が得られるハイエンドなデジタルカメラではありましたが、コストが高く、製造も困難だったために、ビジネスとしての成功には至りませんでした。このことで3板式プリズムカメラをあきらめたFoveonは、先の研究時代に権利化していた、とある特許に着目します。

革新的なデバイスの発明

The invention of a revolutionary device

Foveonの技術者のひとりで、半導体分野のリーディングエンジニアだったディック・メルリが発明した、「ひとつのピクセルでRGBすべての色を捉えることのできる」デバイスの特許がそれです。

過去に、エンジニア以外にもユニークな経

歴をもち、多彩な才能に恵まれたメルリは、最先端技術と芸術を統合させるうえで自らのクリエイティビティを開花させ、革新的なフルカラーイメージセンサーへの着想と技術確立において、多大な貢献をしました。

なによりも、メルリ自身が才能豊かな写真家であり、彼に内在していた芸術的欲求こそが、のちに、革新的なセンサー開発のドライビングフォースとなったであろうことは疑いの余地がありません。

画像信号化技術の革新

A new era in image processing

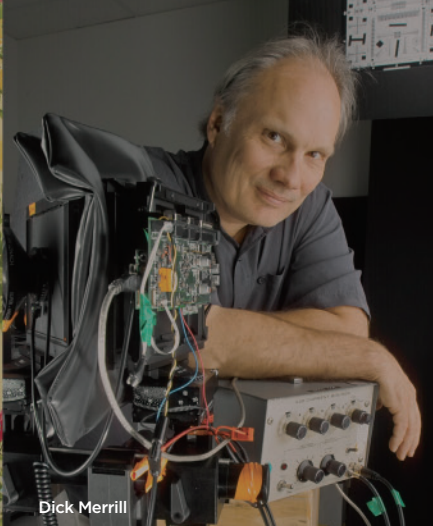
ですが、メルリの発明したデバイスは確かに一つのピクセルでRGBすべての色を取り込むことには成功していたものの、センサーの開発すべてが順風満帆なすべり出しだったわけではありませんでした。

シリコンの物理的特性として、表面付近で短い波長の光を吸収し、深さが深くなるに従って徐々に波長の長い光を吸収することは以前から知られていましたが、それを写真を生成するにふさわしい画像信号に変換するためには、さらなる技術革新が必要だったからです。

その役割を担ったのはもうひとりの「ディック」、つまりFoveonの当時のチーフサイエンティストだったディック・ライアンでした。信号処理技術に関する豊富な経験を



Dick Lyon



Dick Merrill



The Sigma SD9 and The Foveon X3® direct image sensor.

持つライオンもまた、写真に対して個人的に深い関心を寄せる人物だったことは重要でした。

「最高画質」商用化への道すじ

New products offering ultra-high image quality

ライオンは、シリコンの光吸収特性に関する理論的な研究を行い、入念な実験と解析を経て、各ピクセル内の特定の深さにおけるRGB各波長の分光特性を解明しました。そして最終的に、「プロフェッショナルな写真家の要求にも耐えうる高い品質の色再現は可能」と判断するに至ります。

その後、ディック・メリル、ディック・ライオンをはじめ、多くの Foveon の技術者の尽力によって、X3ダイレクトイメージセンサーの試作品には幾多の改良が重ねられていきます。

そして2002年、ついに民生用デジタルカメラに使用可能な品質のセンサーを実現したとして開発が完了しました。現代最高レベルの知見と、際立つ創造性を集約したこのチャレンジングな取り組みは、試行錯誤と英断のつかさねの末にようやく商用化されます。

単板式としては世界初、唯一のフルカラーセンサー「FOVEON X3®ダイレクトイメージセンサー」として初めて、シグマの初代デジタル一眼レフカメラ、SD9に搭載され、

2002年10月のデビューを果たしたのです。

シグマSDシリーズへの搭載

The Sigma SD series arrives

独自技術と品質へのこだわりを哲学として持ち続けてきたレンズメーカー、シグマが最初に手掛けたデジタル一眼レフカメラがこのSD9であり、世界で初めてX3ダイレクトイメージセンサーを採用したカメラでもありました。

レンズのエキスパートであるシグマにとって、一心に追求してきた「レンズの解像度」を、ローパスフィルターによって落とさざるを得ない従来のデジタルカメラの画像生成システムは、到底許容できるものではありませんでした。たとえリスクはあれど、最先端のX3ダイレクトイメージセンサー採用に踏み切った最大の理由は、レンズメーカーとして貫いてきた「画質」に対する矜持ゆえです。

ローパスフィルターを必要としないX3ダイレクトイメージセンサーは、レンズの持つ解像度をそのまま忠実にデジタル画像へ変換することができ、写真が本来持っていたはずの、立体感や空気感、あるいは豊かな情感といったものを見事に表現してくれます。

最高のレンズ、最高のセンサー。

Best lens, best image sensor

また、レンズの性能が如実に表れるX3ダイ

レクトイメージセンサーを自社のカメラに採用したことで、レンズ性能についても、より一層高度な品質を追求するようになりました。単にMTF値の高さだけを求めるのではなく、最終的な写真として、「最高の仕上がりを得らかどうか」をも強く意識するようになっていったのです。

2008年、シグマはついに、X3ダイレクトイメージセンサーと、その母体である Foveon を傘下に収めました。自らの写真哲学と事業理念を実践するべく、理念を共有しながらともに歩み挑んできたなかで、互いに分かち難い存在となっていたシグマと Foveon の、ひとつの理想的な結末であったといえます。

業界最高水準の高品質の製品を低コストで提供することに徹底してこだわり続け、特殊ビス1本から金型製造まで、ほとんどすべての工程を自社一貫生産方式で内製してきたシグマにとって、この決断は、総合光学機器メーカーとしての不退転の意志を示すものでした。

最高のレンズと、最高のセンサー。ただ、「よい写真とは何か」を真摯に見つめ、写真の命ともいべき光学系のクオリティを磨いてきたシグマにとっては、レンズと、その性能を最大限に引き出すカメラボディにこだわって製品づくりを続けることは、必定の道のりだったのです。



SD15、 あるべき性能の 調和と洗練。

The SD15 offers
refined and balanced
performance

「撮影者のツール」として完成度を高める

An even more complete resource for the photographer

撮影者の意図に忠実に、ダイレクトに反応できる「撮影道具」として。デジタル一眼レフカメラの基本性能に磨きをかけたSD15は、シンプルな仕様でありながらも、ひとつひとつの充実度と全体の調和性を徹底追求し、細部にわたる洗練のもとに誕生しました。

「よい写真とは何か」、「よいカメラとは何か」。いつ、どんな時にも一貫してゆるぐことのないシグマの写真に対する原理原則にもとづいて、より高度で複雑な表現者の要求にも応え、長い愛用にたえうる普遍性を第一義に開発。煩雑な操作や不要な付加機能も、潔いまでに集約されています。

必要十分な機能が絶妙に調和

An elegant balance of functions

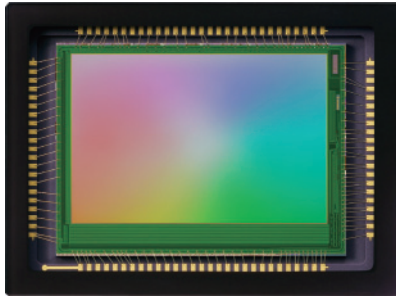
そのかわりに撮影者が直感的に操作できるユーザーインターフェースと、苛酷な撮影環境にも耐えうる基本性能は厳しく磨く。

撮り手が「撮影」という本来のパフォーマンスに集中できること、というシグマのデザインポリシーは厳正に継承されています。そのうえで必要十分な機能を統合的に、絶妙に調和させたSD15の、この基本性能の成熟を、ぜひその手その眼で体験してください。



SD15 主要テクノロジー

SD15 technology



SENSOR

X3ダイレクトイメージセンサー

1406万画素フルカラーセンサー

1,406万画素(2,652 × 1,768 × 3層)のダイレクトイメージセンサーを搭載。RGB全色を3層で取り込める画期的なフルカラーイメージセンサーが、光と色の情報を余すことなく取り込み、精緻なディテールと、立体的で臨場感のある画像を生み出します。

ISO

ISO50～3200

ノイズの少ない画像生成を実現

光の取り込みの効率性を上げ、ノイズの少ない画像生成を実現。フルカラーセンサーが捉えた階調豊かで解像感のある画像を提供します。

SHUTTER

フォーカルプレーンシャッター

10万回の作動耐久性性能

SD14と同様、各部機構、部材などを強化することにより、10万回の作動耐久性性能を検証し、信頼性を強化したフォーカルプレーンメカシャッターを採用。シャッター機構から発生するゴミを最小限に抑え、ダストプロテクターとともにイメージセンサーに付着するゴミやホコリを最小限に低減します。

DRIVE MODE

2モーターシステム

ミラー振動のカメラブレを軽減

ミラー駆動とシャッターチャージを専用モーターで駆動させる2モーターシステムを搭載し、ミラーの振動を最小限に抑えてカメラブレを防止。ミラーの跳ね上がりによる振動後にシャッターを切るミラーアップ機構も採用。カメラブレを軽減し、マクロ撮影や超望遠レンズでの風景撮影に力を発揮します。

バッファメモリ2倍*

最大21コマRAW連続撮影が可能

大容量フルカラーデータ高速処理のため、2倍のDDRIIバッファメモリを搭載(*SD14比)。さらにメモリ使用の効率化を図り、最大21コマのRAWファイル連続撮影が可能に。約1,400万画素の大容量データの高速転送・処理で、最高3コマ/秒を実現します。

ENGINE

「TRUE II」搭載

X3センサー専用画像処理エンジン

SDシリーズとしては、初めてX3ダイレクトイメージセンサー専用画像処理エンジン「TRUE II」を搭載。シグマ独自のアルゴリズムで、フルカラーセンサーのピュアでリッチな情報を画像劣化させることなく高速処理。高精細かつ色感豊かな描写を実現します。

また、RAWのみならず、カメラ内JPEG画像も画質と処理時間を飛躍的に向上させ、撮影時の快適性をいっそう向上させています。 (「TRUE」はThree-layer Responsive Ultimate Engineの略称です)。

MEMORY

SDカード採用

記録メディア統一で利便性向上

記録メディアには、コンパクトで携帯性に優れたSDカード(SDHC対応)を採用。SIGMA DPシリーズと記録メディアのフォーマットを統一することで利便性の向上を図っています。

AUTO FOCUS

5点測距AF

精度の高い測距を可能に

AFセンサーには中央、左右、上下の5点による測距センサーを採用。特に使用頻度の高い中央測距点には高精度の測距を可能にするクロスセンサーを配置。AFフレームの選択は、カメラ側の自動選択と撮影者による任意選択の2つのモードがあります。

新型AEセンサー搭載

77分割新AEセンサー採用

77分割新AEセンサーを採用。進化したアルゴリズムで露出精度の向上を図りました。AFポイントとも連動し、複雑な光の状況でもきめ細かい制御で正確な露出制御を実現。

VIEWFINDER

高視野ファインダー

ペンタプリズム採用で見やすく



ペンタプリズムファインダーは、視野率縦98%、横98%、ファインダー倍率0.9倍を実現。一眼レフカメラの重要要素であるファインダーの見やすさを徹底して追及。アイポイントは18mm。接眼部には視度調整機構を搭載し、-3から+1.5までの調整が可能です。

EXPOSURE

露出補正機能

撮影者自身が意図した露出を選択・決定

カメラが測定した露出を参照して撮影者自身が意図した露出を選択・決定。被写体の微妙な明度差など露出決定が難しいときには、オートブラケット機構により3段階または5段階の露出バリエーションで連続撮影できます。補正幅は1/3EVステップで±3EV(3段階)/±1.7EV(5段階)まで設定可能です。

AFE

AFE(Analog Front End)搭載

高感度性能を向上

フルカラーイメージセンサーが捉えた光を効率よくデジタル信号に変換。従来に比べ高感度性能が向上し、ノイズが少なく、高解像度で優れた色再現が可能です。

METERING

4種類の測光方式

被写体に応じて選択可能

被写体や撮影シーンに合わせて、使い分けられる77分割評価測光、中央部重点平均測光、中央部分測光、スポット測光の4種の測光方式を搭載。

■ 77分割評価測光

逆光での撮影もカメラが自動補正。一般的な撮影に最適です。

■ 中央部重点平均測光

ファインダー中央部に重点を置いて画面全体を測光。任意での露出補正に最適です。

■ 中央部分測光

ファインダー画面の8.8%の中央部エリアを測光。逆光時に被写体のみの露出測光に最適です。

■ スポット測光

測光範囲は、ファインダー画面の1%の中央部エリアを測光。多様な光の状況の中でもピンポイントで被写体の露出を測りたいときに最適です。



ダストプロテクターを標準装備。マウント回りにシーリング部品を組み込み、内部へのダスト侵入を最小限に低減。また内部可動機構から発生するゴミのクリーニング用に、ダストプロテクターユニットのワンタッチ着脱機構を採用しています。

DISPLAY

大型3.0型TFT液晶モニター

視認性の高い大型モニターを採用

日中の屋外でも優れた視認性を発揮する3.0型TFT液晶モニターを採用。約46万ドットの広視野液晶モニターは、色再現に優れ、構図やピントの確認も容易に行えます。



トップLCDバックライト

多彩な情報が瞬時に確認可能

ボディ上面の液晶パネルには、撮影設定情報、撮影可能枚数、電池残量などを常時表示。また、LCDバックライト(オレンジ色)の点灯により、暗い場所でも各種情報が確認できます。

BUILT-IN FLASH

17mm対応内蔵フラッシュ

高精度なフラッシュ撮影が可能

レンズ表記17mm(35mmサイズ換算で約28mm 相当の画角)に対応したポップアップ方式の内蔵フラッシュ(ガイドナンバー11)を搭載。内蔵フラッシュが同調するシャッター速度は最高1/180秒。S-TTL自動調光システムの搭載により、高精度なフラッシュ撮影を可能にします。

AUTO BRACKETING

オートブラケットの進化

よりきめ細かい露出設定が可能に

従来の3コマのオートブラケットに加え5コマのオートブラケット機能を搭載。よりきめ細かい露出設定が可能です。

DUST PROTECTOR

ダストプロテクター

内部へのダスト侵入を防ぐ

レンズ交換式デジタル一眼レフカメラにおいて、レンズ交換時のゴミ・ホコリの侵入は大問題。このゴミやホコリがイメージセンサーに付着すると画像に写り込んでしまう場合があります。SD15のマウント部分には光学ガラスによるシールド機構、



USER INTERFACE

進化した直観的なUI

撮影に集中できるシンプルなUI

定評のあるユーザーインターフェースは、従来のSDシリーズを基本的に踏襲しつつ、より直感的・感覚的に操作できるよう進化させています。たとえば、ワンボタンでカラーモード、ホワイトバランス、画質、画像サイズといった撮影に重要な設定項目をバックLCDに一括表示させるクイックセットボタン。十字コントローラーの操作により、クイックな設定が可能です。

Fnボタンでは、フラッシュモードやシンクロモードなどの高度な設定が3.0型の大型液晶モニターを見ながらの調整可能に。

OKボタンの設定

操作・機能を任意で設定可能

撮影画像再生時に便利な、画像の回転やマーク機能等がOKボタンに設定可能。OKボタンを活用することで、より快適で素早い操作が可能になります。

SOFTWARE

SIGMA Photo Pro 4.0

簡単な操作で自在な表現

付属の現像ソフト「SIGMA Photo Pro 4.0」は、RAWデータを素早く簡単に現像できるソフトウェア。新ノイズリダクションアルゴリズムを採用し、ノイズの少ない画像生成を実現します。そのほか各撮影シーンに最適な色調、コントラストなどを調整した5種類のカラーモードに対応。調整値はRAWデータに保存可能です。

BATTERY

専用リチウムイオンバッテリーBP-21

大容量リチャージャブルバッテリー採用

専用のリチウムイオンバッテリーBP-21を付属。1回のフル充電で最大約500コマの撮影が可能。バッテリーチャージャーBC-21(付属)により約120分でフル充電。別売りのACアダプターSAC-4で、AC電源での使用も可能です。



傑作を生む「極上の素材」。

Highest-quality components for masterpiece photographs

専用画像処理エンジン「TRUE II」 SDシリーズ初搭載

The TRUE II image-processing engine joins the SD series.



SD15では、DP2に初搭載して高い評価を得たX3ダイレクトイメージセンサー専用の新開発画像処理エンジン「TRUE (Three-layer Responsive Ultimate Engine) II」を、シリーズとしては初めて搭載します。

ダイレクトイメージセンサーの画像生成メカニズムを知り尽くしたシグマの独自のアルゴリズムによって、独特の精緻で立体的な描写力を最大限に活かしながらも、カメラ内JPEG画像処理の最適化に成功。画質や処理時間の飛躍的な向上を実現しています。

X3ダイレクトイメージセンサーが取り込んだ素性のよい光信号を、シグマの揺るぎない「画づくり」の基準に照らし、最適化して記録することに力を注いで洗練させてきた「TRUE II」。X3ダイレクトイメージセンサーならではの豊かな光信号を、画像を劣化させることなく高速処理することで、撮影時の快適性を大幅に向上させながら情感豊かな画像に仕上げます。

シグマの仕上がりがイメージ JPEGモード

Featuring JPEG and RAW image format modes

SD15で撮影されるJPEG画像は、シグマがもっとも適切と考える「出来上がりの写真」です。JPEG設定で撮影し、もしも「これが自分の求めている写真である」と全面的に賛成していただけるのならば、JPEG設定による便利で快適な撮影を楽しんでいただきたいと思います。

そのままプリンタにつないで印刷するのも、

友人や家族とそのまま画像データをシェアするのも自在です。共有やコネクティビティという点で、カメラ内JPEGの利便性は極めて優れています。しかし画像を作り上げてから非可逆(元に戻らない)圧縮を施してファイル化するJPEG画像には、随意に補正できる余地はそれほど残されていません。カメラ側のお仕着せで提供するJPEG画像だけで、撮り手の表現者としての思いを十分に再現することは至難の業です。

X3ダイレクトイメージセンサーの、えもいわれぬ臨場感、質感をもった「感動画質」はまさに、自然な情報のバランスを保ったX3Fフォーマット(RAWモード)の画像データに由来しています。

「最高の一枚」を「最高の画質」で。飽くなきクリエイティブマインドを持ち合わせ、内なるイメージに忠実であろうとするすべての人にこそ、X3Fフォーマットでの撮影をおすすめしたいと思います。

最高の画像を約束するRAWフォーマット

The .x3f RAW data format for highest-quality images

シグマは、撮影はもちろんのこと、最終的に作品へと仕上げるまでのプロセスすべてを「写真」と考えています。自分の記憶に刻まれたイメージを、自身の目と手でいねいに引き出し、再現すること。それができてはじめて、撮り手自身の写真表現は完成する、と考えてきました。

だからこそ、広いダイナミックレンジと、豊かな諧調・色調をもち、色感や質感を引き出しながらイメージを再現できる、フィニッシングに耐えうる画像データを提供しなければならない、と。シグマが一貫してX3Fフォーマット(RAWモード)を推奨してきたのはまさに、フルカラーセンサーがとらえたピュアでリッチな画像信号をまるごと記録したこの画像データの特質に拠ります。

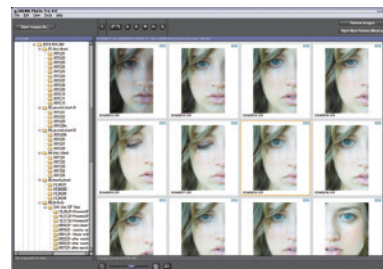
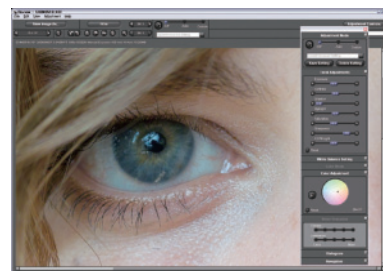
それはあたかも「最高の一皿」をささえる極上の食材のように。創り手の感性と技量に寄り添い、仕上がりに幅や深みを与え、どこまでも自由で高質な表現を許容する懐の深い

素材として、圧倒的なポテンシャルを示してくれるのです。

SIGMA Photo Pro 4.0、 「暗室作業」の喜び

SPP4.0 offers darkroom-style freedom and control

SIGMA Photo Pro 4.0は、アーティスティックな写真を仕上げるために本当に必要な機能だけを厳選して採用しています。数あるRAW現像ソフトウェアのなかでも最高水準を自負するほど、わかりやすく直観的なインターフェースに集約しています。たとえ初めてRAW現像に挑戦する場合でも、ためらいなく写真を仕上げることができるように考えられています。



画像補正に必要なのは、「調整パレット」にまとめられた露出、コントラスト、シャドウ、ハイライト、彩度、シャープネス、X3フィルライトの7つのパラメータと、新たに加わったノイズリダクションの2つのパラメータ、そして色を調整するカラーホイールのみ。これら进行操作して調整しながら、撮影時の心象風景に思いを馳せながら、理想的な写真、最高の一枚に仕上げることもできるのです。

それはたとえば暗室で、独り自分自身と対話をするかのように。豊かで粘りのあるダイナミックレンジをもったX3Fフォーマットの画像データを、最高の「作品」へと変えていくこの過程にこそ、写真表現の醍醐味があると言っても過言ではないはずです。



豊富な高性能シグマレンズ

High-performance Sigma lenses.

シグマは、1961年にレンズメーカーとして創業以来、後発でありながらも、独自の技術を活かしたユニークな製品を数多く展開。今日まで交換レンズの開発・製造・販売において、独自技術にこだわり、品質を追求することで、熾烈な競争を勝ち抜き、市場の信頼と評価を得てきました。

例えば、リヤコンバーターもシグマが発明した製品のひとつ。現在では、一眼レフカメラの世界ではリヤコンバーターが主流ですが、当時は、コンバージョンレンズと言えばフロントコンバーターのことを指しました。レンズ1本毎の専用品になってしまう点や、装着時にフロントヘビーになってしまうという問題を、コンバージョンレンズを交換レンズとボディの間に入れる方式、つまりリヤコンバーターを開発することによって、初めて解決したのはシグマだったのです。

高画質を引き出すラインナップ

A lens lineup designed for highest image quality.

シグマのSAマウントレンズ群は、フレアやゴーストの発生を軽減するスーパーマルチレイヤーコートを採用や超音波モーターHSM、手ぶれ補正OS機構、ELD、SLD等の特殊低分散ガラスや非球面レンズ等、高度な光学設計と緻密な製造技術の粋を集めて開発。広角、標準、望遠、マクロ、フィッシュアイ等、すべてSD15の高画質を最大限に引き出せるラインナップになっています。

すべては多くの写真家がより自分らしい高質の写真を楽しめるようにするために。シグマが現在展開しているレンズ群は40種以上にのぼります。レンズの性能を最大限に引き出すカメラボディ、そしてレンズにこだわりを持って開発し、製造してきたSAマウントレンズ群は、写真家の創作意欲に、ストレートに反応できる最高のシステムである、と自信をもっておすすめします。

アーティストのための、カメラシステム。

The artist's camera





OPTIONAL ACCESSORIES

多彩なアクセサリ

さまざまな状況、条件のもとで、撮影の快適性や自在性をサポートするアクセサリ群を用意しました。充実のラインナップから、撮影のスタイルや目的に応じて最適な選択を。

パワーグリップ

PG-21 希望小売価格(税別):25,000円

SD15のバッテリーパワーをアップする専用のバッテリーパック。専用バッテリーを最大2本収納可能。SD15に装着すると縦位置撮影用のグリップとなりホールディング性も良好です。



リモートコントローラー

RS-31 希望小売価格(税別):2,500円

カメラから離れて撮影できるため、セルフポートレートや家族写真の撮影など、幅広く活用できます。また、ミラーアップ機構と組み合わせることでブレの軽減が可能です。わずかな振動が撮影に影響するマクロ撮影や超望遠レンズを使用した風景撮影の際に役立ちます。



ケーブルリリース

CR-21 希望小売価格(税別):3,000円

リリースボタンをロックできるので、長時間露光撮影やバルブ撮影に最適です。



エレクトロニックフラッシュ

**EF-530 DG SUPER
希望小売価格(税別):53,000円**

SD15に大光量オートズームフラッシュ EF-530 DG SUPER を装着することで、S-TTL自動調光撮影が可能です。高速シャッター時でも使用できるハイスピードシンクロ機能やワイヤレスフラッシュ機能を搭載。創造的な表現の可能性が大きく広がります。

エレクトロニックフラッシュ

**EF-530 DG ST
希望小売価格(税別):37,000円**

S-TTL方式による自動調光撮影により、気軽に美しいフラッシュ撮影が可能で大光量オートズームフラッシュです。オートズーム機能やバウンスヘッドなどさまざまな機能を備えています。



ACアダプター

**SAC-4
希望小売価格(税別):9,000円**

スタジオでの撮影や、カメラを室内で使用するときに、SD15に安定した電源を供給するACアダプター。カメラとパソコンを繋いで、撮影したデータを転送するときにも使用します。

SIGMA SD15 | DIGITAL SINGLE LENS REFLEX CAMERA : 主な仕様

■ 形式

形式	レンズ交換式デジタル一眼レフレックスカメラ
使用レンズ	シグマSAマウント交換レンズ
レンズマウント	シグマSA/バヨネットマウント
実撮影画角	レンズ表記の約1.7倍の焦点距離に相当(35mmカメラ換算)

■ 撮像素子

型式	X3 ダイレクトイメージセンサー (CMOS)
撮像素子サイズ	20.7×13.8mm
画素数	総画素: 14.45MP (2,688×1,792×3) 有効画素: 14.06MP (2,652×1,768×3)
アスペクト比	3:2

■ 記録形式

記録媒体	SDメモリーカード/SDHCメモリーカード、マルチメディアカード			
記録フォーマット	Exif 2.21 準拠、DCF2.0 準拠、DPOF 準拠			
記録モード	ロスレス圧縮RAW(12-bit)、 JPEG(High、Wide、Medium、Low)、 7種 (スタンダード、ビビッド、ニュートラル、ポートレート、 風景、白黒、セピア)			
カラーモード				
記録画素数	RAW	High	約 15.4 MB	2,640 x 1,760
	JPEG	High	: Fine	約 3.3 MB 2,640 x 1,760
		: Normal	約 1.9 MB	2,640 x 1,760
		: Basic	約 1.4 MB	2,640 x 1,760
	Medium	: Fine	約 1.6 MB	1,872 x 1,248
		: Normal	約 0.9 MB	1,872 x 1,248
		: Basic	約 0.7 MB	1,872 x 1,248
	Low	: Fine	約 0.8 MB	1,312 x 880
		: Normal	約 0.5 MB	1,312 x 880
		: Basic	約 0.3 MB	1,312 x 880

■ ホワイトバランス

種類	8種(オート、晴れ、日陰、曇り、白熱電球、蛍光灯、フラッシュ、カスタム)
----	--------------------------------------

■ ファインダー

方式	ペンタプリズム式一眼レフファインダー
視野率	縦 98%、横 98%
倍率	0.9 倍 (50mmF1.4・∞)
アイポイント	18mm
視度調整範囲	-3dpt ~ +1.5dpt
フォーカシングスクリーン	固定式、全面マット
ミラー	クイックリターン式
被写界深度確認	絞込みボタンによる

■ オートフォーカス

方式	TTL位相検出方式
測距点	十字配置5点(中央クロス)
測距範囲	EVO ~ +18 (ISO100)
フォーカスモード	シングルAF、コンティニアスAF(動体予測機能付)、マニュアル
AFフレーム選択	自動選択、マニュアル選択可能
AFフレーム選択表示	ファインダー内スーパーインポーズ
AF補助光	白色ランプ
フォーカスロック	シャッターレリーズの半押し

■ シャッター

形式	電子制御式フォーカルプレーンシャッター
シャッター速度	1/4000秒~30秒、Bulb(30秒まで:拡張モード時:2分まで)
フラッシュ同調速度	1/180秒以下で同調

■ ドライブ関連

ドライブモード	[1] 1コマ撮影、[2] 連続撮影、[3] セルフタイマー(2秒/10秒)、 [4] ミラーアップ
連続撮影速度	3コマ/秒
連続撮影可能枚数	21コマ

■ メニュー機能

表示言語	日本語、英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、イタリア語、 中国語(簡体字)、韓国語、ロシア語
------	---

■ 露出制御

測光方式	77分割式評価測光、スポット測光、中央部分測光、 中央部重点平均測光に切り替え可
測光範囲	EV1~20 (50mm F1.4 : ISO100)
露出制御方式	[P]プログラムAE(プログラムシフト可能)、[S] シャッター優先AE、 [A]絞り優先AE、[M] マニュアル、の4モード
ISO感度(推奨露光指数)	AUTO(ISO 100-ISO 200)、 フラッシュ撮影時(ISO 100-ISO 400)、 ISO 100、ISO 200、ISO 400、ISO 800、ISO 1600 相当、 (拡張モードでは、ISO 50、ISO 3200相当の選択が可能) ±3EV(1/3ステップ) レリーズボタンの半押し、あるいはAEロックボタンを押す 3コマ撮影時:補正は、1/3EVステップ、最大±3EV、 5コマ撮影時:補正は、1/3EVステップ、最大±1.7EV
露出補正	
AEロック	
オートブラケティング	

■ フラッシュ

内蔵フラッシュ 型式	手動ポップアップ式内蔵フラッシュ
内蔵フラッシュ ガイドナンバー	GN11
内蔵フラッシュ 照射角	レンズ表記17mmをカバー
調光方式	S-TTL自動調光
フラッシュ調光補正	±3EV(1/3ステップ)
外部フラッシュシステム対応	EF-530DG SUPER、EF-530DG ST、EM-140DG
シンクロ端子	あり
フラッシュ接続	ホットシュー (X接続、1/180秒以下で同調、専用フラッシュ連動接続付き)

■ 表示

トップ LCD	シャッター速度表示、絞り値表示、露出メーター表示、 撮影可能枚数表示、測光モード表示、バッテリー残量表示、 リモコンモード表示、調光補正表示
---------	--

■ 液晶モニタ

形式	TFTカラー液晶モニタ
画面サイズ	3.0型
画素数	約46万ドット
視野率	100%

■ 再生機能

画像再生	1コマ再生、9コマサムネイル表示、拡大再生、スライドショー
ハイライト表示	あり
ヒストグラム表示	あり

■ インターフェース

PC/IF	USB端子 (USB 2.0)
AUDIO/VIDEO	ビデオ出力端子 (NTSC/PAL)

■ 動作環境

使用可能温度	0 ~ +40℃
使用可能湿度	85%以下

■ 電源

電源	専用リチウム電池(Li-ion/バッテリーパック BP-21)、 充電器(バッテリーチャージャー BC-21)、ACアダプター SAC-4(別売)
----	--

■ 大きさ・質量

大きさ	幅: 144mm × 高さ: 107.3mm × 奥行: 80.5mm
質量	680g (電池、カード除く)

■ SD15 同梱品

- ・ Li-ionバッテリーパック(BP-21) ・ バッテリーチャージャー(BC-21) ・ USBケーブル
- ・ ビデオケーブル ・ ネックストラップ ・ アイキャップ ・ ボディキャップ ・ アイピースキャップ
- ・ SIGMA Photo Pro Disc ・ SD15取り扱い説明書

■ 価格

SD15 本体	オープン価格
---------	--------

■ 別売アクセサリ

- ・ バッテリーグリップ: Power Grip PG-21 ・ ACアダプター: SAC-4
- ・ リモートコントローラー: RS-31 ・ ケーブルレリーズ: CR-21
- ・ エレクトロニックフラッシュ: EF-530 DG SUPER、EF-530 DG ST、EM-140 DG

- 製品の外観、仕様などは改善のため予告なしに変更することがあります。

www.SIGMA-SD.com/SD15

SIGMA

株式会社シグマ

〒215-8530 神奈川県川崎市麻生区栗木2丁目4番16号
フリーコール: 0120-9977-88 携帯からは: 044-989-7436
www.sigma-photo.co.jp

 ご注意: 正しく安全にお使いいただくために、ご使用前に必ず使用説明書をよくお読みください。

- シグマ製品のご寿命は